



川治屋台夜まつり



8月27日(日)、川治グラウンドで開催されました。会場には釜焼きピザ、スベアリップなどを売るたくさんの屋台が立ち並びました。また、ステージでは川治太鼓や尺八と電子ピアノによるジャズ、沖縄音楽などが披露され、訪れた人たちは音楽とおいしい料理を堪能しました。祭りの締めくくりは恒例となった沖縄エイサー。訪れた人たちは、沖縄の伝統的な踊りを、沖縄県人会「兄弟会」の皆さんと一緒に踊り、盛り上がりました。

ボラフェス合同 PR



8月20日(日)～11月11日(土)まで、市内各地で行われているボランティア・市民活動フェスタ2006。これは2001年のボランティア国際年をきっかけに始まったイベントです。9月10日(日)には、ジャスコ今市店の駐車場で、合同PRデーが開催されました。この日は、31団体が参加し、日ごろ行っているボランティア活動や市民活動の取り組みを紹介しました。

フォトダイアリー

8月27日(日)、NPO法人「尾に緑を育てる会」が主催する第7回足尾グリーンフォーラムが開催されました。午前中には、モミジやブナ、コナラ、山桜などの体験植樹や魚のつかみ取り、福引大会などが行われました。午後からは、銅親水公園足尾環境学習センターでシンポジウムが行われ、作家の加藤幸子さんが「鳥・水・緑」の復活」と題して基調講演を行いました。加藤さんは、講演の中で東京湾の埋め立てと自ら開設に努めた東京湾野鳥公園設置に至るまでの苦労話などを紹介し、最後に「足尾の緑の復活へ向け、一人一人できることから取り組んでいってください」と結びました。続いて、シンポジウムが行われ、県内外から集まった200人以上の参加者たちは、環境や緑の再生などについて真剣に考えました。



足尾グリーンフォーラム



ウムが行われ、作家の加藤幸子さんが「鳥・水・緑」の復活」と題して基調講演を行いました。加藤さんは、講演の中で東京湾の埋め立てと自ら開設に努めた東京湾野鳥公園設置に至るまでの苦労話などを紹介し、最後に「足尾の緑の復活へ向け、一人一人できることから取り組んでいってください」と結びました。続いて、シンポジウムが行われ、県内外から集まった200人以上の参加者たちは、環境や緑の再生などについて真剣に考えました。

大昌電子・メルシャン竣工



8月28日(月)、市内で建設が進められていた、2つの大規模工場がそろって竣工しました。150億円を投資した大昌電子の新工場は、延べ床面積2万4千㎡を誇り、半導体パッケージ基板を24時間体制で生産します。また、二酸化炭素の削減を図るなど環境にも配慮しています。



上：大昌電子の新工場
下：メルシャン日光工場

メルシャン日光工場は、市が誘致を進めていた大日光(轟)工業団地に初めて建設された工場です。43億円が投資され、みりんや発酵調味料、清酒などの加工用酒類を年間7万klを生産します。2つの大規模工場が、市の産業振興に大きく貢献することが期待されます。



そばガーデン

8月18日(金)～20日(日)にかけて、市緑ひろばで行われました。訪れた人たちは、おはよしの公演や地元バンドの生演奏をBGMに、手打ちそばと生ビールをゆっくりと楽しんでいました。